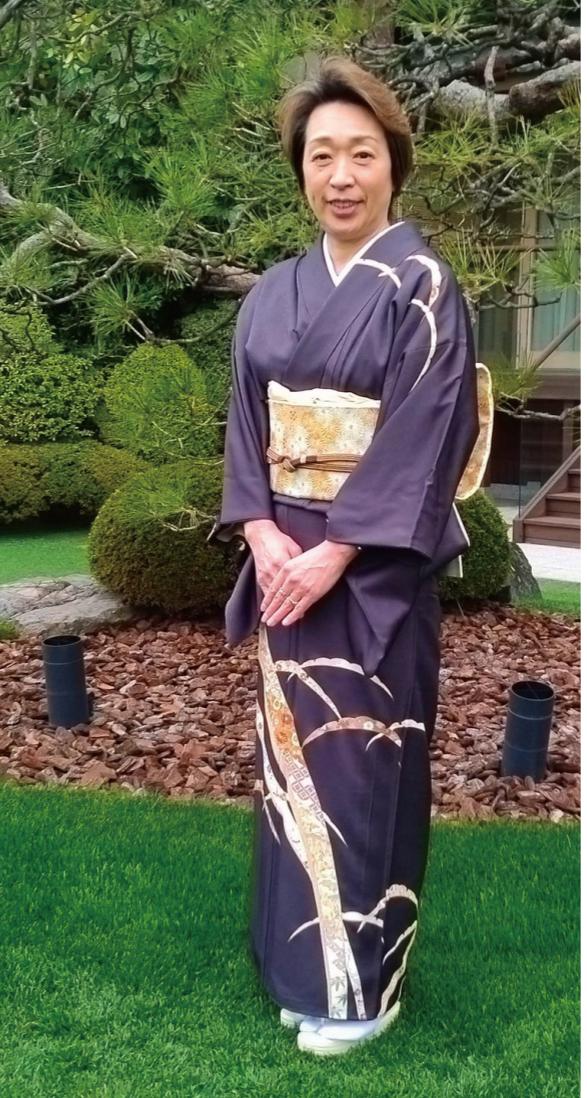


だからこそ、正しい和装を次の世代に伝えていかないと。

## 参議院議員 橋本聖子さん(冬季五輪日本人女性初のメダリスト)

橋本議員のきもの姿。  
「初公開かもしれない」  
(橋本議員)だそうです。



今回のパリ五輪でも、日本  
人女子選手が目覚ましい  
活躍をされています。冬季  
五輪で日本人女性初めて  
のメダリストとして、そ  
の先駆けになりさらには國  
會議員として、そのあと  
押しもされた橋本議  
員ですが、これから日本

の女性活躍について、お考  
えをお聞かせください。  
「国会でも少しずつ女性  
議員が増えてきましたが、  
ここ永田町全体では女性  
活躍というには程遠い状況  
があります。女性活躍のた  
めの環境づくりに関する政  
策を作るのは国会、まずそ  
れの国がほとんど上位にあ  
る中で、日本は女性活躍と  
いう意味では、まだまだ途  
上国なんですね」

そんな現実の中でもス  
ポーツの世界では日本人  
女性が素晴らしい活躍を  
見せてています。  
「かつては社会全体が女  
性は何歳までに引退しな  
くちゃいけない、結婚をし

てきている。そんなことが  
女性の活躍をあと押しで  
きているのではないかと思  
います」

「私は7回、オリンピック  
に出ていたのですが、2回  
目のカルガリーの時は23歳  
でした。この時でもう、ス  
ケート選手としては最年  
長だったんです。スケート  
は29歳まで自転車は31歳

和装を次の世代に伝えて  
いくことが大切だと思い  
ます」

「海外に行くと、日本  
文化への憧れが強いことに  
気づきます。リオで次回  
の東京五輪をPRするた  
めに作ったジャパンハウスで  
は、和装体験が圧倒的に  
大人気でしたよ。だから  
こそ、正しい和装が求めら  
れていると思います。これ

このあと「生の自分を支  
えていく」と表現された、  
お母様のエピソードをお  
話いただきました。とても素敵なお話しでした  
ので、ぜひ次号以降で紹  
介させていただきたいと  
思います。

突き破つてこられた議員  
のエネルギーの源泉が知  
りたいです。  
「当時は、いろいろな面  
で日本人は通用しないと  
いうバイアスがかかってい  
たんです。コーチや監督は  
「外人は特別」と。出産し  
てメダルをとる人はヨー  
ロッパでは結構いたのに、同  
じ人間なのになぜできな  
いのかと強く思っていました。  
た。誰かがやらないとはじ  
まらない。そんな想いで27  
歳でメダルを頂いたとき、天  
井(天井)が破れたのか  
なあと感じました」

足のわらじとあまりいい  
評価をいただけなかっただ  
けです。やはり、ヨーロッパ  
には夏と冬に外出する女性は  
けつこうおられた。日本人  
でもできるはずなんです。  
す。当時は『やれるかもし  
れないがやらせない』とい  
う雰囲気がありました。  
リスクがあるのに、なぜ?  
と言われましたが、私と  
しては『リスクがない挑戦  
はありえない』し仮に失  
敗しても、その挑戦は自  
分の人生の財産になりま  
すから」

和装を大切にしている女  
性です。また、中学校で浴  
衣教室のボランティア講  
師をするなど、きもの文  
化の持続化に努力してい  
ます。ぜひ励ましの言葉  
をお願いします。

「海外に行くと、日本  
文化への憧れが強いことに  
気づきます。リオで次回  
の東京五輪をPRするた  
めに作ったジャパンハウスで  
は、和装体験が圧倒的に  
大人気でしたよ。だから  
こそ、正しい和装が求めら  
れていると思います。これ

から日本をPRしていく  
中、和装は強みになつてい  
くはずです。しっかりと  
道で牧場を経営していた  
のですが、冬になると敷地



インタビューは参議院議員会館の橋本議員の事務所で行われました。応接スペースは五輪でいっぱいです。

今回のインタビューには四季誌和装家の古畑久美子さんに同行取材をお願いしました。

